

映像ポータル＆旅行ポータルサイトのCGM技術活用

BIGLOBEでは「生活者の関心と評判がわかるメディア」の実現という方針のもと、各ジャンルポータルサイト内のコンテンツに対して、コメントや トラックバック、ブログなどのユーザ参加型のサービスを実現しました。これらCGM機能の導入によって、ユーザの関心・傾向を体系的に分析し、さらに評判情報というコンテンツに編集し配信することができるようになりました。本文では、無料動画配信サイト「BIGLOBEストリーム」、および観光情報サイト「BIGLOBEトラベル」におけるCGM機能の活用事例について紹介します。

はじめに

昨今のWeb2.0の潮流において、コンシューマ向けWebサービスの形態はCGM(Consumer Generated Media: ユーザ生成型メディア)に移行しつつあります。ポータルサイトをCGM化するメリットとしては次の3点が挙げられます。

- 1) 利用者がポータルサイトのコンテンツに参加することが可能になり、情報発信の機会や新たな楽しみを得ることができます。
 - 2) ポータルサイトが提供する情報に対して利用者からのクチコミ情報や評判情報等が加わり、コンテンツに新しい付加価値が生まれる。
 - 3) 事業者のメリットとして、CGMによって利用者から得られるデータをコンテンツとして再利用したり、マーケティング・アライアンスとの協業等に活用することができる。
- このような背景のもと、BIGLOBEでは「生活者の関心と評判がわかるメディア」の実現をめざしており、各ポータルサイトにCGM機能を積極的に導入しています。
- 本稿では、BIGLOBEの映像ポータルであるBIGLOBEストリーム、および旅行ポータルであるBIGLOBEトラベルのCGM導入事例について紹介します。

BIGLOBEストリームにおけるCGM導入事例

BIGLOBEストリームは無料・オンデマンド・高画質を特長とした動画配信サイトです¹⁾。BIGLOBEストリームでは2006年10月より、番組を紹介するページに対してCGM機能を導入し、ユーザ参加型の動画コンテンツを実現しています。

(1)導入の概要

はじめにBIGLOBEストリームの構成について説明します。構成の要素として、チャンネルと番組があります。チャンネルはジャンルごとに複数の番組をまとめたものです。番組には個別に「番組紹介ページ」があり、公式の番組紹介

コンテンツと動画へのリンクから構成されています。今回、この番組紹介ページに対してコメント・ トラックバック機能を導入しました。

まず、コメント機能は、番組に対して視聴者が感想や意見などを投稿できる機能です。視聴者がコメントを投稿すると、番組紹介ページには投稿した内容が公式の番組紹介コンテンツとともに表示されます。BIGLOBEストリームの事業は動画の再生の前後の動画広告掲載であり、番組紹介ページにおいて公式の紹介コンテンツとCGM機能によるコメントによって番組を効果的に訴求できる点は非常に重要です。また、視聴者にとっても、数多くの番組のなかから見たい番組を絞り込むのに有効です。

次に、 トラックバック機能は、視聴者が一般のブログで番組に関する内容の記事を書いた際に、番組紹介ページにブログ記事へのリンクが生成される機能です。BIGLOBEストリームでは、 トラックバックを用いてユーザ参加型の動画コンテンツを実現しました。詳細は次節で紹介します。

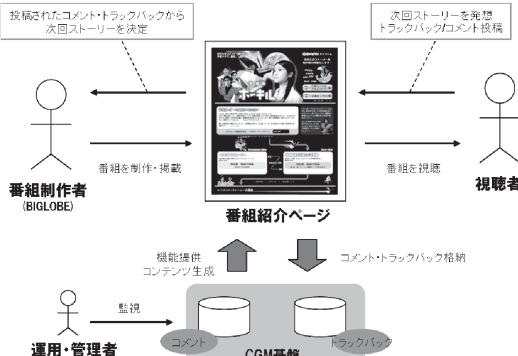
(2)コンテンツ例

本節ではBIGLOBEストリームの番組「宇宙船ポーキル」について紹介します。宇宙船ポーキルはBIGLOBEがオリジナルに制作するドラマ番組で、公式のストーリーに加えて、視聴者がCGM機能を活用して作り上げるストーリーが平行して展開される点が大きな特長です。

本コンテンツの基本的な構成について説明します(図1)。BIGLOBEストリームの宇宙船ポーキルの番組紹介ページでは、毎週ドラマの動画が更新されます。視聴者はまず、制作側の作成した動画を視聴します。その後、視聴者はドラマの今後の展開を自由に発想して自分のブログにストーリーを投稿します。このとき、番組のブログに トラックバックを行うことで番組制作側に対してストーリーを提案することができます。制作側は、 トラックバックされたブログ記事のなかから次回のストーリーを決定し、実際にドラマを制作します。以後、利用者がその後のストーリー案

WEBサービス活用事例

映像ポータル&旅行ポータルサイトのCGM技術活用



を提案していくことでドラマが順次展開されます。このように、CGM機能の導入によってBIGLOBEストリームはインターネットの特長である双方向性を生かしたサービスを実現することができました。

BIGLOBEトラベルにおけるCGM導入事例

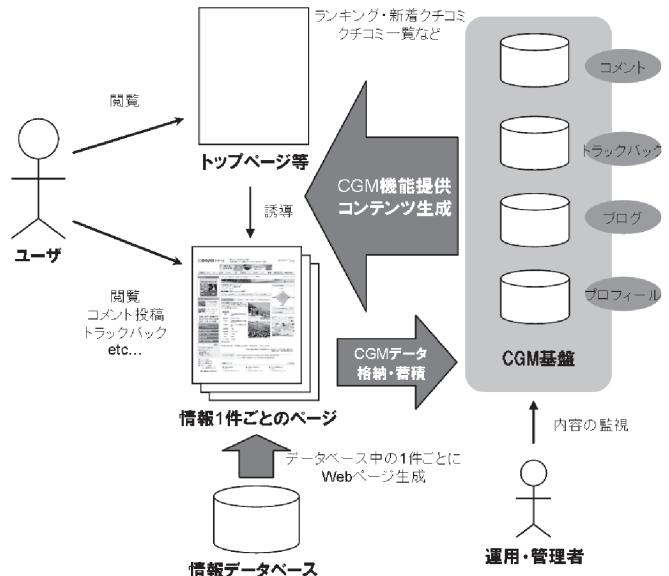
BIGLOBE トラベルでは、2007年1月より情報カタログコンテンツに対してCGM機能を導入し、公式の観光情報にクチコミや評判情報を付加することで、価値の高い情報を提供しています。

(1)導入の概要

BIGLOBE トラベルは幅広い旅行情報を利用者に提供しているBIGLOBEの生活ポータルサイトの1つです²⁾。サイトの構成としては、ホテル・航空券等の紹介コンテンツや特集コンテンツの他に、今回新たにCGM機能を導入した情報カタログコンテンツにより構成されています。まず情報カタログコンテンツの基本的な構成について説明します(図2)。

情報カタログコンテンツは、情報データベースから自動生成したWebページのまとめです。情報データベースにはテキストやイメージが含まれています。今回のCGM化では、情報カタログコンテンツに対して、クチコミの投稿やレーティング(評価付け)、 トラックバックなどの機能を導入しました。これによって、公式の観光情報にクチコミ情報が加わり、利用者にとってさらに価値の高いコンテンツを提供できるようになりました。

また、CGM機能によって蓄積されるクチコミや評判情報を自動的に集計・再編集することで、ランキング等の新たな



付加価値を持ったコンテンツとして再利用することが可能になりました。さらに、BIGLOBE トラベルの事業では旅行関係のアライアンス様との協業が重要であり、統計データを用いてアライアンス様と共同で利用者のニーズを探る等、事業面でもCGM機能が活用できるようになっています。

(2)コンテンツ例

具体例として、BIGLOBE トラベルの情報カタログコンテンツ「観光ガイド」について紹介します。観光ガイドは、全国約3,000件の観光スポット情報のデータベースから「観光スポットページ」を生成し、CGM機能と共に利用者へ提供しています。観光スポットページには、観光スポットの場所や連絡先などの基本情報に加え、CGM機能によって投稿されるクチコミの情報等が掲載されています(図3)。観光スポットページに導入されているCGM機能は次のとおりです。

1) クチコミの投稿と閲覧

利用者は観光スポットのページからクチコミを投稿することができます。クチコミの記事は、タイトル、本文、写真、レーティングなどの複数項目から構成されます。投稿されたクチコミは、観光スポットページ上に新着クチコミとして表示されます。クチコミの本文や写真とともに入力されたレーティングの値は一定時間後に集計され、レーダーチャート型のFlashによって観光スポットの特性として表示



図3 観光スポットページの例

されます。クチコミ投稿の際にはBIGLOBEのID基盤を用いた投稿者の認証が行われます。投稿前に利用者を認証することで、荒らしなどのリスクを抑えられるという運用上のメリットの他、IDに関連付けられたプロフィールのページを通じて利用者どうしのつながりもたらすというサービス上のメリットがあります。

2) トラックバックの付加と閲覧

ブログを持つ利用者は、ブログ記事を書く際に観光スポットに対してトラックバックを行うことができます。 トラックバックを行うことで、そのブログ記事へのリンクが観光スポットページに自動的に作成されます。

トラックバック機能によって、観光スポットページにはその観光スポットに関連した一般のブログ記事が集約され、サイトを閲覧する利用者はクチコミ記事に加えて一般のブログの情報を参考することができます。

3) 旅行記ブログの投稿

BIGLOBEのブログを持つ利用者は、観光スポットページか

らブログ記事を投稿することができます。さらに、ここから投稿されたブログ記事には、当該の観光スポットページへのリンクと、観光スポットの周辺地図が自動的に埋め込まれます。

4) 人気ランキングの集計と閲覧

観光ガイドのトップページには、CGM機能によって得られたデータから自動生成したランキングが表示されます。ランキングの内容は一定時間ごとに更新されます。

例として、「おすすめスポットランキング」では、クチコミ投稿時に得られたレーティング情報のなかの「総合評点」を集計し、平均点数が高い上位5件の観光スポットを自動抽出して掲載しています。

まとめと今後の展開、関連URL

本稿では、BIGLOBEのWeb2.0化の取り組みの事例として、BIGLOBEストリームおよびBIGLOBEトラベルにおけるCGM機能の導入について紹介しました。

BIGLOBEは今後、各ジャンルポータルにCGMの各機能を順次拡大・展開することで、ユーザ参加型のメディアの実現をめざしています。機能面では、携帯端末を用いたリアルタイム性の高いクチコミ情報の投稿や、利用者の行動に基づいたレコメンデーションなど、利便性を向上させる機能の追加を検討しています。また、利用者の関心・傾向を体系的に分析し、データを加工・再編集することで新たなコンテンツとして再利用するというサイクルの実現に取り組んでいきます。

BIGLOBEでは、これらの新しいCGM機能やビジネスモデルの導入によって、ポータルサイト全体のさらなる活性化と事業の拡大をめざします。

● 関連URL

- 1) BIGLOBEストリーム: <http://broadband.biglobe.ne.jp/>
- 2) BIGLOBEトラベル: <http://travel.biglobe.ne.jp/>

執筆者プロフィール

岡田文一
NECビッグローブ
ポータル事業部
統括マネージャ

岩淵志学
NECビッグローブ
ポータル事業部

本田和秀
NECビッグローブ
ポータル事業部
マネージャ

岡島康憲
NECビッグローブ
ポータル事業部